

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 日・モンゴル合同委員会による電子決裁

[2] ウェビナー傍聴：ニュージーランドにおける自主的緩和取組の促進 [新たな政策提案の紹介]

◆2. 報道発表

[1] 中央環境審議会地球環境部会カーボンプライシングの活用に関する小委員会（第 15 回）の開催について

◆3. イベント・セミナー情報

[1] 気候変動と脱炭素をテーマにしたウェビナーシリーズ (IGES) 「パリ協定第 6 条に関する議論と今後の動向」

[2] 気候サミット特集ページ (IGES)

◆1. 事務局からのお知らせ

[1] 日・モンゴル合同委員会による電子決裁

日・モンゴル合同委員会は電子決裁により第三者機関 (TPE) に関する決定を行いました

【詳細はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/mn-jp/information/410>

【モンゴルにおける最近の動向はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/initiatives/mongolia.html>

[2] ウェビナー傍聴：ニュージーランドにおける自主的緩和取組の促進 [新たな政策提案の紹介]

本ウェビナーでは、自主的緩和取組を活性化し、企業による信頼性及び透明性が高くかつ市場で有効な主張を可能するための革新的な政策提案をまとめた報告書「Boosting Voluntary Climate Action in Aotearoa New Zealand」の概要が紹介された。

同報告書では、自主的緩和取組の定義と意義及び京都議定書からパリ協定への枠組みの変化により既存のカーボンオフセットの取組も変化する必要性があることを分析している。また、分析結果を踏まえ、ニュージーランドがパリ協定における NDC 目標を達成し、更に NDC 目標を超えて緩和を促進することを目的として、企業が自主的緩和取組及びオフセットに対して異なるニーズを持つことから、2 トラックアプローチを提案している。

【傍聴メモはこちらからダウンロードいただけます。】

⇒ https://www.carbon-markets.go.jp/column/event_report/11644/

◆2. 報道発表

[1] 中央環境審議会地球環境部会カーボンプライシングの活用に関する小委員会（第 15 回）の開催について

中央環境審議会地球環境部会カーボンプライシングの活用に関する小委員会（第 15 回）が令和 3 年 5 月 7 日（金）に開催されました。

【委員会の資料はこちらからご覧いただけます】

⇒ <http://www.env.go.jp/council/06earth/yoshi06-19.html>

◆3. イベント・セミナー情報

[1] 気候変動と脱炭素をテーマにしたウェビナーシリーズ（IGES）「パリ協定第 6 条に関する議論と今後の動向」

4 月 22 日・23 日にバイデン大統領の呼びかけにより開催された気候サミットで、アメリカ、日本をはじめ 2030 年目標を引き上げる国が出てきました。ますます各国の動きが活発になる中、パリ協定実施ルールの最後のピース、第 6 条の決着に向け、COP26 の準備が着々と進んでいます。

本ウェビナーでは、パリ協定第 6 条のおさらい、炭素市場と 6 条の関係、5 月 31 日からの交渉の見通し、COP26 に向けた論点と今後の行方について解説します。

【詳細はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.iges.or.jp/jp/events/20210514>

[2] 気候サミット特集ページ (IGES)

4月22日・23日、バイデン米大統領の呼びかけにより、気候サミット「Leaders' Summit on Climate」が開催されました。サミットには40名を超える国や機関、自治体、企業の代表が参加し、温室効果ガスの削減に向けた取り組みについて協議しました。

このページでは、今回のサミットについて各国の発表の仮訳、サミットに関する考察や関連出版物などを紹介していきます。

【詳細はこちらをご覧ください】

⇒ <https://www.iges.or.jp/jp/projects/summit-climate>

◎ ●お問い合わせについて

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度 (JCM) や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ info@carbon-markets.go.jp

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー (PDF) は下記サイトで公開しています (最新号を配信後に、前号がアップされます)。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター (OECC)

〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7・7 階

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。